

委員長報告

常任委員会

各常任委員会に付託された議案等の審査結果について、それぞれの常任委員長が報告しました。委員長報告における委員の意見や要望の主なものは次のとおりです。

総務委員会

- *新清水庁舎あり方検討事業について、スケジューリング管理をしながら現庁舎の課題等も含めて検討を進め、市民への分かりやすい説明を求める意見の一方で、新庁舎のあり方を検討するとしながら、移転計画を変更しないのは問題であり反対するとの意見も述べられた。
- *サッカースタジアム構想づくりに向けた検討では、他都市の効果的な事業手法を検討し、民間活力の導入なども含めて積極的な調査を求める。
- *財政運営について、今後の財源不足に対応すべく、第3次静岡市行政改革推進大綱に基づく事務事業の見直しや民間活力の活用、コスト削減に加えて収納率の向上などにも取り組むこと。

観光文化経済委員会

- *地域型宿泊誘客事業支援助成は、これまでの施策の成果や課題を踏まえた取組であり評価する。GOTOトラベルなどの国や県の動向を注視し、効果的な施策となるよう取り組むこと。
- *歴史文化施設では、地域産業の紹介なども取り入れ、地域に密着した施設になることを期待する。
- *モバイル決済サービスを活用した地元消費拡大促進事業は、経済波及効果が幅広く見込まれるため、第2弾の実施を要望する。一方でモバイル決済に不安を持つ市民もいるため、不安解消につながる取組を求める。
- *海洋文化施設は、コロナ禍にあるからこそ大胆な見直しを行い、より質の高い施設になることを求める。

市民環境教育委員会

- *男女共同参画の推進について、まずは市役所内から意識を変え、地域の自治会活動や防災に女性の声をいかすとともに、多様性を認め合う社会の実現に向け、あらゆる意思決定の場への女性の参画を加速させること。
- *地球温暖化対策について、脱炭素社会の実現に向け、市民の意識改革や事業者の技術革新を推進すること。
- *ICT教育環境整備事業での各学校のリーダー育成にあたっては、特定の教員に負担が偏らないよう配慮し、学校間でICT活用に差が出ないようにすること。
- *コロナ禍により心理的な不安を抱える子どもの増加が予想されるため、引き続きスムーズに不登校及び別室登校の児童生徒に対応できる環境を整えること。

都市建設委員会

- *計画を前倒して実施する公園整備事業について、コロナ禍により、公園などのオープンスペースの必要性が高まっているため、積極的に整備を促進すること。
- *バス路線の再編に係る公共交通幹線軸の運行再編事業では、静岡型Maasとあわせ、市民が利用しやすい公共交通網の検討を進めること。
- *国道一号隣接地に自転車休憩施設などを整備するサイクルツーリズム拠点整備事業について、多くの方に利用してもらえる魅力ある拠点とすること。
- *桜橋の工事は渋滞解消のため一月でも早く完成させること。国道一号長沼交差点の改良は、広域ネットワークの視点を踏まえて関係機関へ働きかけること。

厚生委員会

- *新型コロナウイルスワクチン接種事業では、できるだけ多くの市民がワクチン接種を受けられるよう、医師会とも連携して臨機応変に対応すること。
- *清水区脳梗塞予防実証実験事業は国内で初めて実施する実証実験と聞いている。そこで得た成果を本市の医療体制の更なる向上につなげること。
- *児童相談所におけるICT機器活用促進事業では、導入するタブレット端末を積極的に活用し、業務効率化や職員の負担軽減を図ること。
- *市立こども園医療的ケア児受入事業について、受入体制の拡充に加え、人材育成にも力を入れ、持続可能なインクルーシブ保育を実現すること。

企業消防委員会

- *感染症予防でオゾン発生装置をすべての救急車両に配備するなど救急活動時の二次感染リスクの軽減を図ることは大切であるため、今後も一層の対策を求める。
- *吉田町倉庫火災を受けて新設する災害機動支援部隊管理室の運営にあたっては、災害現場での事故防止とともに市民の安全・安心につなげることを。上下水道は生活そのものであり、市民の命を守り、暮らしを取り戻す二つのLife(ライフ)を支える基盤として、今後も維持管理に一層努めること。
- *水道の老朽化対策及び耐震化を着実に推進すること。
- *大雨による浸水被害が頻発している状況を受け、一刻も早く雨水ポンプ場を完成させること。

特別委員会

地域特有の課題について調査研究を行うため設置した四つの特別委員会が、4年間に及ぶ調査活動を報告しました。

人口減少対策特別委員会

- 2年度までの取組**
元年度までは、若者・子育て世代に焦点を当て、安心して子育てできる環境の整備や働く場の確保、それらの施策を効果的に人口増加に結び付けるマーケティングの強化についての提言や、調査研究を行った。2年度は移住・定住推進事業を重点に、市内施設の視察を行い、ポストコロナにおける本市への移住・定住の加速や関係人口等の増加に向け、新たに提言した。
- 要望等**
こども園等の待機児童ゼロの継続など安全な保育等の受皿の提供、移住後のフォローアップなど移住相談事業の強化、テレワーク拠点の拡充、首都圏へのPRなどコロナ禍における移住環境の整備を図ること。

総合交通政策特別委員会

- 2年度までの取組**
交通弱者への対応及び交通網の整備による地域活性化のため、地域の実情に合わせた総合交通体系のあり方に関して、平成29年度から令和元年度は、各種事業の調査、市への提言、関係者との意見交換会を行った。2年度は、自転車利用のための整備と新都市交通関連に関する調査の上、①生活に根付いた静岡型Maasの実現、②安全で快適な自転車利用ができる走行空間づくり、③自転車利用におけるルール・マナーの向上、の3点を市へ提言した。
- 要望等**
早期に対応できるものは速やかに実施し、長期的な取組を要するものは計画的な取組に努めること。

中山間地活性化調査特別委員会

- 2年度までの取組**
平成29・30年度は「定住・移住関連」と「生活関連」に重点を置き、本市の取組状況調査や現地視察など、令和元年度は「小さな拠点づくり」と「災害対策」に重点を置き、先進事例の調査・研究等に取り組んだ。2年度の会議では、委員会が長年整備を求めてきた中山間地域への光回線の敷設が実現することに期待する声や、高齢化や人口減少に伴う医療や交通等の課題の指摘、オアシスの魅力発信を求める意見があった。
- 要望等**
中山間地域の活性化のため、中山間地域での定住や移住のための施策、経済活動や観光振興等の調査研究が必要である。今後も各局が連携して取り組むこと。

清水都心まちづくり特別委員会

- 2年度までの取組**
清水都心及びその周辺地区のにぎわい・交流を創出するため、清水港の魅力を活用したまちづくりのあり方に関して、平成29年度から令和元年度は、調査研究、市への提言、関係機関への要望活動を行った。2年度は「清水みなとまちづくりランドデザイン」で示されたリーディングプロジェクトのうち二つの計画を対象に、より具体的なまちづくりの方向性や課題などを議論し、その成果を市長に提言した。
- 要望等**
地域住民や関係企業との協働により、清水都心の魅力を磨き上げ、同地区のまちづくりと海洋文化都市構想を一層推進すること。

6月定例会のお知らせ

6月定例会は、令和3年6月17日からはじまります。日程は次のとおりです。 会期 23日間

開催日	会議名	場所
6月 4日(金)	議会運営委員会	第2委員会室
9日(水)	議案説明会	議場
6月17日(木)	本会議	議場
23日(水)	議会運営委員会	第2委員会室
25日(金)	本会議(総括質問)	議場
28日(月)	本会議(総括質問)	議場
29日(火)	本会議(総括質問)	議場
7月 1日(木)	総務委員会	第1委員会室
	企業消防委員会	第2委員会室
	市民環境教育委員会	第3委員会室
2日(金)	厚生委員会	第1委員会室
	観光文化経済委員会	第2委員会室
8日(木)	都市建設委員会	第3委員会室
	議会運営委員会	第2委員会室
9日(金)	本会議	議場

※日程は変更になることがあります。(最新情報は、市議会ホームページでご確認ください。)
※議場・委員会室は市役所静岡庁舎本館にあります。
※本会議の傍聴受付は4階、委員会の傍聴受付は3階にあります。

市議会の傍聴を希望される皆さんへ

新型コロナウイルス感染の予防及び拡大防止の観点から、傍聴にお越しの皆さんの健康を守るため、傍聴の際には手洗い・消毒の励行やマスク着用をお願いいたします。傍聴受付に手指用の消毒液を設置しますので、ご利用ください。
また、発熱等風邪の症状のある方や体調のすぐれない方等におかれましては、傍聴をお控えくださいますようお願いいたします。
なお、議場にお越しにならなくても議会の様子をご覧いただけるよう、インターネットにより本会議の様子の中継及び録画配信を行っております。スマホ等からも手軽に視聴できますので、是非ご利用ください。

本会議 生放送・録画放送

生放送(LIVE)・録画放送(VOD)をご覧ください。

https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_000269.html